学校番号	Ｔ０１１０

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	古典 A	単位数	2	年次	3
使用教科書	古典 A　物語選　改訂版（大修館書店）						
副教材等	独自プリント等						

1　担当者からのメッセージ

・欠席することなく、積極的な態度で授業に臨むこと。
・授業は、主にプリントを配付して行う。配付したプリントは必ず保管すること。
・プリントは毎時間点検し、考査前にもそれまでの範囲のプリントを全て点検するので、板書事項は必ず記入し、保管の上復習する態度を養うこと。
・定期考査前には、試験範囲を指示するので、ポイントをしっかりおさえて考査に備えること。

2　学習の到達目標

生徒が取り組みやすい、古文、漢文を読みこなすことを通じて、古典や漢文に触れる機会を増やし、それらのおもしろさに改めて気づかせる。学習内容を振り返る機会を作ることによって、深く理解する態度を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	出席状況 授業態度 記述の点検（プリント教材）	出席状況 記述の点検（プリント教材） 定期考査	行動の観察 記述の確認（プリント教材） 定期考査 小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期(4・5・6・7・9月)	説話・物語	教材: 『宇治拾遺物語』 「小野篁広才のこと」 『竹取物語』 「かぐや姫の昇天」 ・音読を繰り返すことで、古文を読むことに慣れる。説話や物語の持つおもしろみを、登場人物の行動を読み取り理解する。説話や物語の書かれた時代背景を通じて、当時の生活や社会的背景を学ぶ。文脈に従って、内容を的確に読み味わい、理解を深める	○	○	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。言葉遊びのおもしろさを味わっている。「竹取物語」や物語文学に関心を持ち、理解を深めようとしている。 b:話の展開を把握している。語句や文法に注意して本文を現代語訳している。会話の主を読み取り、整理している。小野篁と嵯峨天皇の性格や二人の関係を読み取り人物像を博している。謎解きとそのおもしろさが主題であることを読み取っている。登場人物の心情や人間関係を的確に読み取っている登場人物の言動を通じて、当時の人が天上界や人間界をどのように考えていたかを読み取っている。係り結びの用法や敬語の表現などに注意して本文を読み取っている。 c:小野篁の嵯峨天皇についての歴史的事実を理解している。敬語の用法について理解を深めている。推量や過去・完了の助動詞の意味・用法、敬語について理解を深めている。「竹取物語」の文学史的な位置づけについて理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	物語・日記	教材: 『西鶴諸国ばなし』 「大晦日は合わぬ算用」 『和泉式部日記』 「薫る香に」 ・作品に現れた人間の生き方と、社会の関わりについて考える。文章の構成に注意して、主題をとらえる。登場人物の関係と場面の移り変わりを把握する。古文特有の意味・用法を、読解を通じて理解する。	○	○	○	a:教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。「西鶴諸国ばなし」や近世文学について関心を持ち、理解を深めようとしている。『和泉式部日記』やさくしゃについて関心を持ち、理解を深めようとしている。登場人物の心情や行動考え方や生き方とその背景にある社会構造を読み取っている。作者が「武士のつきあひ」をどのようにとらえているかを読み取っている。 b：本文の構成を把握し、話の展開を理解している。会話の主や主語を明確にして本文を読んでいる。登場人物の心情や行動考え方や生き方とその背景にある社会構造を読み取っている。作者が「武士のつきあひ」をどのようにとらえているかを読み取っている。場面の移り変わりを読み取り理解している。地の文会話文、和歌のつながりを把握し文章のリズムを味わっている。 c:作者井原西鶴や作品の歴史的背景を理解している。「西鶴諸国ばなし」の文学的位置づけについて理解している。文章の語句や文法、和歌の修辞法について知識を深めている。敬語の意味と用法について理解している。平安朝女流文学の流れを理解し、『』和泉式部日記』の作者や内容、文学史的な位置づけについて理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

後期（10.・11.・12.・1・2・3月）	日記	教材: 「駿河路」 ・日記としての形式や、文体、作者の意図について理解し、作者の心情を味わって読む。和歌に込められた作者の心情を読み取る。	○	○	○	a:日記や作者について関心を持ち、理解を深めようとしている。 b：和歌に描かれた情景や本文の構成を把握し、内容や話の展開を理解している。語句や文法に注意し、文脈に沿って本文を現代語訳している。それぞれの和歌に詠まれた情景や心情を読み取っている。文章や和歌の背景となる典拠を理解している。 c:重要古語や古典文法を理解している。和歌の修辞法につて理解を深めている。日記文学の流れを理解し、『十六夜日記』の作者や内容、文学史的な位置づけについて理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等
	百人一首	教材: 『百人一首』 ・百人一首の歌に親しみ、自らの感性を豊かにする。	○	○	○	a: 教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。地域の歌枕について調べるなど、課題を設定して学習に取り組んでいる。 b：和歌に描かれた情景や作者の心情を読み味わっている。 c:和歌の修辞法とその効果について理解している。百人一首についての基本的事柄を理解している。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

	思想	教材: 『孔子と門人たち』 「賢哉回也」 「過猶不及」 ・訓読・漢詩の修辞について理解を深める。儒家の思想を理解する。孔子の門人たちとのやりとりを通して、師弟のあり方や孔子の人格を考える。繰り返し読み、暗唱することを通して「論語」の思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにする。	○	○	○	a:教材に興味を持って意欲的に学習に取り組んでいる。孔子の門人たちとのやりとりを通して、師弟のあり方や孔子人柄を考えようとしている。 b：本文の構成と大意を正しく把握している。登場人物の関係を把握し、それぞれが誰の言葉かを読み取っている。重要語句薬包に注意し、脚注などを参考に本文を現代語訳している。繰り返し読み、暗唱することを通して『論語』の思想を深く読み取り、自己の考え方を豊かにしている。「賢哉回也」で、孔子は顔回のどのような点を「賢哉」と表したのかを読み取っている。「過猶不及」で、孔子はどのようなあり方が望ましいと考えているかを読み取っている。 c:重要な語句や句法について整理し、理解を深めている。『論語』の内容と孔子の人柄や考え方について理解を深めている。	観察 出席状況、 授業態度、 プリントの記述、 定期考査等

※　表中の観点について　　a:関心・意欲・態度　　b: 読む能力　　c: 知識・理解